



日米の「公教育」比較

・国内の学校教育の現況は？

脇田 孝豪

1. 日本の公教育の枠組みは？

A. 施設・設備は？

小・中は市町村立、高・支援は都道府県立。

B. 教職員の人件費は？

小・中・高とも、国と都道府県・政令市が折半。

↓↓↓ 「カネを出すところがクチも出す!？」

C. 教育課程(教育内容)は？

文科省「学習指導要領」に基づく検定教科書制度。

(国内一律の体系だった教育内容と順序)

2. 日本の公教育の特質は？

C. 教育課程(教育内容)は？

「学習指導要領」に基づく検定教科書制度。
(国内一律の体系だった教育内容と順序)

↓ ↓ ↓
(ア). 国内 & 日本人学校との転編入学が容易。

(イ). 前の教育課程の修得を前提に、次の学習。

(= 現地校やIS在籍、家庭事情、荒れ等で途中が抜けると次の修得が困難！)

(ウ). 個人内ではなく、外部評価に陥りやすい。

親や教師は叱りがちチェックしがち、子どもは自信を持ちにくい。

3. 米国の公教育の枠組みは？

A. 施設・設備は？

州・郡・市の各レベル教育委員会で、独自の予算権限。

B. 教職員の人件費は？

State・County・City教育委員会で、独自の予算権限。

↓↓↓ 「カネを出すところがクチも出す!？」

C. 教育課程(教育内容)は？

各レベルの教育委員会が教育方針と教育課程を決定。
(教育委員は公選、公教育は地方自治の重要な一環)

教育課程の全国基準がなく、SAT等の全国共通テストで補完。

4. 米国の公教育の特質は？

C. 教育課程(教育内容)は？

各レベルの教育委員会が教育方針と教育課程を決定。

(教育委員は公選、公教育は地方自治の重要な一環)

教育課程の全国基準がなく、SAT等の共通テストで補完。



(ア). 教科書ではなく、子どもをみて教えることができる。

(個人内評価しやすく、自信と達成感を持たせやすい!)

(イ). 教育課程が系統性に乏しく、テーマ学習が中心となる。

(宿題で下調べし、集団討議で学習内容を深めやすい。)

(ウ). 理系教科の系統だった修得がしにくいのでは？！

5. さて、ここで、本題

日本の公教育を特徴づける、
「学習指導要領」が大幅に改訂された！！

「改訂のポイント」は？ (=アレモ！コレモ！)

「知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」。

(従来の教え込み型) (自ら考え、発表できる能力重視の欧米型)

授業時数を増加！ (小学校は低で週2コマ・中高で週1コマ、中学校は各学年で週1コマ！！)

「教育内容の主な改善事項」は？

「改訂のスケジュール」は？

海外子女教育にかかる影響は？

5- . 「学習指導要領」とは？

(1). 文科省「今後の教育政策の在り方」(諮問)



(2). 中央教育審議会「答申」(改訂の根拠)



(3). 文科省告示「学習指導要領」の改訂
(戦後、概ね10年に一度のペースで改訂)



(4). 教科書の作成(教科書会社) 「検定」開始

5- . 「授業時間数の増加！」

(1) . 小学校

- 授業時数が10%程度増加。
- 低学年で週2コマ、
中・高学年で週1コマ増加。

(2) . 中学校

- 授業時数が10%程度増加。
- 各学年で週1コマ増加。

さて、どの学年、どの教科・科目での増減か？

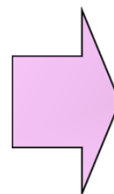
これで、学識者と文科省の課題意識が判る！

小学校の標準授業時数の変化

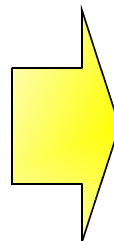
〔平成20年度〕 【現行】

学年	1	2	3	4	5	6	計
教科等							
国語	272 (8)	280 (8)	235 (6.7)	235 (6.7)	180 (5.1)	175 (5)	1377
社会	- -	- -	70 (2)	85 (2.4)	90 (2.6)	100 (2.9)	345
算数	114 (3.4)	155 (4.4)	150 (4.3)	150 (4.3)	150 (4.3)	150 (4.3)	869
理科	- -	- -	70 (2)	90 (2.6)	95 (2.7)	95 (2.7)	350
生活	102 (3)	105 (3)	- -	- -	- -	- -	207
音楽	68 (2)	70 (2)	60 (1.7)	60 (1.7)	50 (1.4)	50 (1.4)	358
図画工作	68 (2)	70 (2)	60 (1.7)	60 (1.7)	50 (1.4)	50 (1.4)	358
家庭	- -	- -	- -	- -	60 (1.7)	55 (1.6)	115
体育	90 (2.6)	90 (2.6)	90 (2.6)	90 (2.6)	90 (2.6)	90 (2.6)	540
道徳	34 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	209
特別活動	34 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	209
総合的な学習の時間	- -	- -	105 (3)	105 (3)	110 (3.1)	110 (3.1)	430
合計	782 (23)	840 (24)	910 (26)	945 (27)	945 (27)	945 (27)	5367

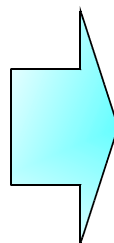
急増



増加



減少



〔平成23年度以降〕 【新課程】

学年	1	2	3	4	5	6	計
教科等							
国語	306 (9)	315 (9)	245 (7)	245 (7)	175 (5)	175 (5)	1461
社会	- -	- -	70 (2)	90 (2.6)	100 (2.9)	105 (3)	365
算数	136 (4)	175 (5)	175 (5)	175 (5)	175 (5)	175 (5)	1011
理科	- -	- -	90 (2.6)	105 (3)	105 (3)	105 (3)	405
生活	102 (3)	105 (3)	- -	- -	- -	- -	207
音楽	68 (2)	70 (2)	60 (1.7)	60 (1.7)	50 (1.4)	50 (1.4)	358
図画工作	68 (2)	70 (2)	60 (1.7)	60 (1.7)	50 (1.4)	50 (1.4)	358
家庭	- -	- -	- -	- -	60 (1.7)	55 (1.6)	115
体育	102 (3)	105 (3)	105 (3)	105 (3)	90 (2.6)	90 (2.6)	597
道徳	34 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	209
特別活動	34 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	209
総合的な学習の時間	- -	- -	70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	280
外国語活動	- -	- -	- -	- -	35 (1)	35 (1)	70
合計	850 (25)	910 (26)	945 (27)	980 (28)	980 (28)	980 (28)	5645

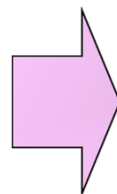
注：（ ）内は週当たりのコマ数。

中学校の標準授業時数の変化

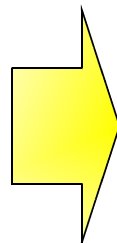
〔平成20年度〕【現行】

学年	1	2	3	計
教科等				
国語	140(4)	105(3)	105(3)	350
社会	105(3)	105(3)	85(2.4)	295
数学	105(3)	105(3)	105(3)	315
理科	105(3)	105(3)	80(2.3)	290
音楽	45(1.3)	35(1)	35(1)	115
美術	45(1.3)	35(1)	35(1)	115
保健体育	90(2.6)	90(2.6)	90(2.6)	270
技術・家庭	70(2)	70(2)	35(1)	175
外国語	105(3)	105(3)	105(3)	315
道德	35(1)	35(1)	35(1)	105
特別活動	35(1)	35(1)	35(1)	105
選択教科等	0～30 (0～0.9)	50～85 (1.4～2.4)	105～165 (3～4.7)	155～280
総合的な学習の時間	70～100 (2～2.9)	70～105 (2～3)	70～130 (2～3.7)	210～335
合計	980(28)	980(28)	980(28)	2940

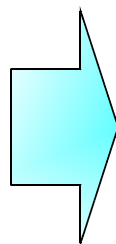
急増



増加



減少



〔平成24年度以降〕【新課程】

年 学	1	2	3	計
教科等				
国語	140(4)	140(4)	105(3)	385
社会	105(3)	105(3)	140(4)	350
数学	140(4)	105(3)	140(4)	385
理科	105(3)	140(4)	140(4)	385
音楽	45(1.3)	35(1)	35(1)	115
美術	45(1.3)	35(1)	35(1)	115
保健体育	105(3)	105(3)	105(3)	315
技術・家庭	70(2)	70(2)	35(1)	175
外国語	140(4)	140(4)	140(4)	420
道德	35(1)	35(1)	35(1)	105
特別活動	35(1)	35(1)	35(1)	105
選択教科等	0(0)	0(0)	0(0)	0
総合的な学習の時間	50 (1.4)	70(2)	70(2)	190
合計	1015(29)	1015(29)	1015(29)	3045

注：（ ）内は週当たりのコマ数。

5- .「教育内容の主な改善事項」&重要事項

(1).言語活動の充実 特に、国語（日本語）教育の充実を強調！

- 国語をはじめ各教科等で記録、説明、批評、論述、討論などの学習を充実。
- 国際的な通用性、内容の系統性の観点から指導内容を充実。
- 反復（スパイラル）による指導、観察・実験、課題学習を充実（算数・数学、理科）。

(2).伝統や文化に関する教育の充実

- 武道を必修化（保体/中1・2）

(3).道徳教育の充実

(4).外国語教育の充実

- 小学校に外国語活動を導入、聞くこと、話すことを中心に指導（小5・6）。
- 中学校では聞く・話す・読む・書く技能を総合的に充実。
（語数を増加〔900語程度まで→1200語程度〕、教材の題材を充実）

重要事項

- 幼小連携を推進、幼稚園と家庭の連続性を配慮、預かり保育や子育て支援を推進。
- 環境、家族と家庭、消費者、食育、安全に関する学習を充実。
- 情報の活用、情報モラルなどの情報教育を充実。
- 部活動の意義や留意点を規定。
- 障害に応じた指導を工夫（特別支援教育）。
- 「はだめ規定」（詳細な事項は扱わないなどの規定）を原則削除。

5- . 海外子女教育にかかる影響は？

(1). 国内の小学校・中学校・高校

・授業時間数の増加に見合う教職員数の増加は？ なし？！

(2). 日本人学校

・授業時間数の増加に見合う教職員数の増加は？ なし？！

(3). 補習授業校

・国語・算数の授業増加への対応は？ なし？！

(4). 「教育内容」

・日米教育のモザイク的接合は可能か？ 特段の対応策なし？！